

# 天地悠久

## コロナ禍での西高と同窓会のあり方

令和3年2月9日、鈴木雅文校長と杉田明弘同窓会長にお話を伺いました。(司会：都築暢也編集委員長)



**Q. 昨年の休校処置でどのような混乱がありましたか？**

校長：令和2年は、コロナ禍で西高も同窓会も大変な年でした。卒業式の前日に突然安倍前首相から全国一斉休校要請があり、卒業式は急遽在校生の参列なしに実施しました。その後、一旦休校は解消されましたが、新年度の入学式翌日から再度臨時休校が始まりました。これで一番困ったのは新入生です。西高生としての心構えができないままでの休校ですから、何をしたらよいか分からずずいぶん困ったと思います。5月下旬ようやく分散登校を始めましたが、その間、課題回収や諸連絡のための学年別分散登校日は2、3日しかなく、6月2日にやっと全校生徒が揃うことになりました。

**Q. 新型コロナで授業への影響はどうだったでしょうか？**

校長：文科省や県教委から示されたガイドラインに沿って、活動が制約された実習・実技がありました。密になる家庭科の調理実習は禁止でしたので、レシピに従って調理実習を自宅で行い、結果を報告することを提案しました。体育では授業のはじめや終わりに集合する時も今までとは逆に密にさせませんでしたし、柔

道の授業は全面的に実施できませんでした。

**Q. オンライン授業は実施されましたか？**

校長：現時点において、愛知県では高校のオンライン授業は正式な授業として認められていません。あくまで休業中の生徒の家庭学習支援の一つと解釈されているんです。しかし、教科によっては先生自作の動画や学習支援アプリのスタディサプリやロイロノートを活用させたり、HPに示した課題を提出さ



鈴木雅文校長

せました。各学校が同様な取組を行ったため、市内の店舗から印刷用インクがなくなったと聞きました(笑)。

**Q. 各種大会や部活動への影響はどうでしたか？**

校長：6月まで休校なので部活動も当然できません。高体連の試合は西三予選から中止となりました。この試合を目標に頑張ってきた3年生の失望感や脱力感を考えると、本当にかわいそうでした。高校総体の代替となる大会を夏休みに開催する動きもありましたが、学校再開後練習をして大会に参加させるのは、既に受験に気持ちを切り替えた3年生には酷ではないかということで、半数以上の競技が実施しなかったと思います。野球部は県大会までの試合ができたのでよかったです。当然、全国高校総体は全競技で中止となりましたし、夏の甲子園大会も中止になったことは驚きでしたね。そのような中、秋にダンス部が協会主催の東海大会で優勝し、全国大会出場の切符を手に入れました。コロナの影響で全国大会が直前に中止となってしまいましたが、今後、ビデオによる審査があるそうです(結果はp7に掲載)。また、陸上部の本多柚稀さんが9月の県新人戦女子三段跳で3位になり東海大

### 同窓会総会書面開催について

令和3年度の同窓会総会を8月7日(土)に計画しておりましたが、感染症拡大防止の観点から議事のみ

書面開催といたします。なお、今年度の懇親会は中止とし、来年度の総会と懇親会を令和4年8月6日(土)午後3時から西尾コンベンションホールで開催予定です。また幹事学年は33回生(昭和56年3月卒)です。

担当：同窓会事務局長 新家正之 ☎0563-57-2270

会での活躍が期待されましたが、やはり大会が中止となり残念でした。

Q. 学校行事への影響はどうか？

校長：時系列的に申し上げますと、昨年の同窓会入会式までは実施できましたが、卒業式は先ほど述べた通りです。入学式は普通にできました。5月の球技大会は当然中止ですが、親睦を深める良い機会と考え7月に実施しました。

今年度は西高祭の年でしたが一般公開をやめて体育祭を中心に1日で実施しました。制約の多い中、生徒は団長を中心によく頑張りました。なお、来年度は西高祭を順延実施するつもりです。このまま中



鈴木校長と団長たち

止してしまうと西高祭文化の伝承が途切れてしまう懸念があるからです。ただ、一般公開には2千人の方が来校されるので、密にならない工夫が必要です。

2年生の修学旅行は6月実施を1月に変更したので



学校祭の新しい試み「神輿」

ですが、再度緊急事態宣言が出たので泣く泣く中止しました。3年生の6月まで延期した高校もありますが、本校では現実的

ではないと決断しました。代替措置として3月にナガシマスパーランドに行く予定です。

夏休みは例年40日くらいですが、授業時間確保の観点からお盆前後の18日間にしました。あの暑い時期に、クーラーがあるとはいえ、コロナ対策で窓を開けてマスクをして授業を行うことは苦しいことでした。同窓会から支援していただいて夏休み中に実施する予定だったオーストラリア語学研修は、オーストラリアが入国を禁止したため中止しました。

11月の文化講演会は密回避のため中止しましたが、体感ウォークは屋外を歩くわけですから、密にならない工夫をして実施でき、大変よかったです。1年生が参加した冬休みのスキースクールは、コロナ感染者の増加で自粛要請があった微妙な時期でしたが、屋外活動であることや思い出に残る大切な行事であると判断して実施しました。病人も出ず、これも大変よかったですと思います。



卒業式のリモート参加

今年の卒業式は、保護者の出席

は各家庭1名に限定し、在校生は代表生徒以外は教室でリモート参加してもらいます。

Q. 大学入試への影響や混乱はどうか？

校長：コロナ対策として事前の検温や試験会場でのマスク着用等が義務付けられ、また、試験会場での教員による激励も禁止となりました。今年度は共通テスト元年ですが、3年生はコロナ以外の事でも本当にかわいそうでした。具体的には、1年生から準備して来た共通テストの目玉である英語の民間テストの活用や国語・数学の記述式問題の中止で、制度変更にも生徒も教員も振り回されました。

Q. 同窓会活動はコロナ禍で影響がありましたか？

会長：まず、コロナの影響で同窓会総会や理事会などが一切開催できなかったことが大きいです。学年同窓会もかねて総会の運営は幹事学年に協力をいただいていますので、令和3年度以降の総会は担当幹事学年を1



杉田明弘同窓会長

学年繰り下げて開催する予定です。(令和3年度・4年度はP1参照) 海外派遣支援は海外研修中止のためなくなりましたが、生徒支援の大きな柱である奨学金は継続しています。

全国大会に出場する部活動への支援ですが、鈴木校長が説明されたようにダンス部に激励金を渡すことができました。また、体感ウォークでは生徒にお茶を提供させていただきました。

Q. 今後の同窓会と西高のあり方や具体的な支援の方法などご提案やご要望があればお話しください。

会長：長期的にはこれまで通り公益財団を活用して、世界や日本で活躍できる生徒の育成のために引き続き支援していきたいと思います。そのためにも多くの方々から公益財団への寄付をお願いしたいものです。一方、人材育成の観点からいろいろな分野で活躍している方々に講師になっていただき、講演会や職場訪問などの交流会を開催していくことも一つのアイデアではないかと思います。

校長：会長さんからのご提案は大変ありがたいものばかりで感謝いたします。西高はリーダーを育てる学校であると思っていますので、とりわけ人材育成にかかる支援は大変ありがたいです。素直で優秀な生徒が多いですが、活躍している先輩から生徒の心に火をつけ、さらなるチャレンジ精神を持つような講話や職場訪問などの支援はぜひお願いしたいです。また、同窓会からの学校祭や部活動へのさらなる支援をいただけると、先輩と在校生との繋がりが分かり、西高同窓生としての誇りがこれからの人生において醸成できるのではないかと思います。

司会：コロナ禍での学校のご苦勞を伺って、これからの同窓会の在り方の参考になったと思います。本日は大変ありがとうございました。

## 〔活躍同窓生〕

とやま おさむ  
外山 修さん

昭和38年卒（15回生）  
小中学校教員として教育活動に携わる。  
退職後、幼稚園・西尾市体育協会（現スポーツ協会）に勤務。  
現在保護司（14年目）として更生保護活動に力を注いでいる。

## ★高校時代にはどんな思い出がありますか？

西尾中学校から西尾高校へ入学できた喜びがあり、3年間陸上競技（短距離）に没頭しました。陸上部顧問の関山先生が熱の入った指導をされ、先輩たちの活躍もあり、県下でも西尾高校の名はよく知られていました。先輩の名を汚さないように、朝練も含め頑張ったことを思い出します。先生は400mの選手で、国体に県代表で出場していました。大学を出たばかりの若い先生だったので、困ったことや悩みもよく聞いてくださいました。でも学途中に生まれ故郷の茨城県へ転勤され、部員一同悲しみ、寂しい思いをしました。

## ★陸上競技との出会いや成績、目標を教えてください。

中学校1年、祖父の勧めで剣道部へ。しかし腕や体が竹刀でアザだらけになり、耐え切れず1年で退部。小学校6年の時、学校代表で出場したリレーでの思いが強く、2年生から陸上部へ入部。多くの仲間と競い合う楽しさに心身ともに充実した学校生活ができました。走幅跳で全三河3位が思い出です。

教員生活のピリオドとともに、中学校から32歳まで続けていた陸上競技をさらに続けたいと思い、陸上競技仲間の先輩を通じてマスターズのことを見聞しました。大学時代から始めた投てき競技がまた続けられることへの楽しみと健康づくりとがマッチし、マスターズチャレンジのきっかけになりました。何より年齢別でチャレンジできることが、魅力的でした。初挑戦は60歳です。

たくさんの思い出の中で何といても一番は、令和元年12月に開催された第21回アジアマスターズ陸上競技選手権大会（マレーシアのクチン）にて、砲丸投・やり投・ハンマー投の3種目で金メダルを獲得したことで

す。それも74歳という、クラスの中でも一番不利な年齢での快挙に喜びもひとしおでした。

今、4つの目標もっています。①これまでの戦績（1位172回、2位102回、3位31回）をさらに伸ばせるよう、健康で日々の生活を送ること。②競技生活を少しでも長く続けられること。③自分のパフォーマンスを最大限生かして記録への挑戦をすること。④多くの人々、特に高齢者に運動することの大切さを知ってもらうこと。いくつになってもチャレンジです。

## ★コロナ禍のなかでどんなことを思っていますか？

人々の動きが止まることによって、多くのイベントに制限があり、本来の日常生活に多くの支障が出ていることは、今までにないストレスを生んでいます。感染拡大させないためにも、一人ひとりの自覚が大切だと感じますが、こんな状況だからこそ、本質を見極め、チャレンジすることが求められると思います。

## ★西高生へメッセージをお願いします。

西高生としての自覚をもって生活すること、そして常に自分の目標や課題を見つけ、まじめに取り組んでいくこと。高校生活は一度しかない、そのチャンスをどう見つめ、どう生かし、どう行動していくか？「西高生ガンバレ！」とエールを送りたい。



平成26年アジアマスターズ(台湾)やり投げ優勝

## 会員からのたより

西尾市矢曾根町 佐藤哲也 (S34年卒)

A組商業科卒業です。定年後趣味もなく、スポーツも苦手、何をしようかと思っていた時「川柳」に出会い、以来10年間ボケ防止の友として毎日過ごして来ました。

すいとんでよくぞ生き抜き我れ傘寿

うるさいがやっぱりさみし妻不在

老いらくの恋か病いか心電図

戒名を受けて極楽予約する

西尾市熊味町 山本章江 (S38年卒)

「ピンチをチャンスに」今年喜寿を迎えます。これまで色々なピンチがあり、大ピンチの時、恩師よりこの言葉をいただき、ポジティブ思考で生きられるようになりました。コロナ禍、生活軸を見直し、「ピンチをチャンスに」で乗り越えて生きていきたいと思っています。

西尾市吉良町 市川國夫 (S43年卒)

「はたちの会」は我々20回生の呼称。いつまでも気持ちは青春の意を込めてのネーミング。還暦・卒業後50年等の節目で再会の喜びを分かち合ってきた。20が連なる2020年の古希を祝う会は残念ながらコロナで中止となった。次回の会は未定だが、それまでは元気になりたい。

安城市藤井町 富田博治 (S43年卒)

大学卒業後、地元の市役所に就職しました。在職中の思い出深いことは、新幹線新駅建設の用地交渉です。民家や事業所などの多くの方の都合に合わせ、曜日も時間も関係なく出向いたが、幸い多くの地元の方の助けもあり駅建設工事に間に合いました。定年退職直前に保護司の話があり、地域の方に感謝をしながら従事しています。

安城市三河安城東町 深津繁美 (S43年卒)

今更ではあるけれど、この年令まで働いているなんて夢にも思わず此処まで来てしまった。気力・集中力の衰えは隠せず、大きな失敗を犯す前にフェイドアウトを自論む昨今。だがしかし、無趣味の酒びたりには暇は危険すぎ、「古希越えて アル中ハイマー まっしぐら」…。

安城市野寺町 矢田良一 (S49年卒)

終末期の過ごし方・終わり方を描いておかないと「なるようになれ！」になってしまいます。還暦を記念して、『エンディングノートを描いて、納得の終末期を迎える！』という本を出版しました。希望者には送料140

円で差し上げます。申込先〒446-0055 安城市緑町二丁目19番地15 司法書士矢田良一宛。

西尾市一色町 中川雅人 (S50年卒)

自動車業界に40年間勤務。欧米での駐在歴は19年間でした(汗)。特にドイツ駐在は大きな経験で、そこで学んだ“欧州技術論”を客員教授として広島大学で講義する機会をいただいております。世界に通用する若者が育つように、60歳過ぎてからの使命として、人材育成に貢献したいと思っています。

西尾市羽塚町 岩瀬高正 (S51年卒)

西高では陸上部に在籍し、インターハイでは旧国立競技場で走れた事が人生最高の思い出になっています。良き先生、先輩、友人に感謝です。今は、陸上ではないですが、色々な場所で開催されるマラソン大会に、妻、息子、娘を巻き込んで参加し、多くの方と知り合いになりながら楽しく過ごしています。体の動く限り参加していきたいと思っています。

安城市南町 宮地俊光 (H3年卒)

税理士事務所、メーカー販社を経て現在の鉄鋼メーカーに入社して12年目になり管理職として奮闘しています。子供は社会人と大学生となりだんだんと手が離れていく一方で両親に時間を費やす年代となりました。自分のルーツを大事にし、これからも親孝行をしていこうと思います。

西尾市今川町 浅岡 誠 (H8年卒)

西尾市で歯科医院を経営し今年で10年となります。私の父や兄も西高生で歯科医師への道を進んでいたの、それに憧れ背中を追いかけてそのまま今日に至ります。西尾高校での先生達の指導や仲間達との時間が頑張る原動力となりました。本当に感謝しております。

安城市古井町 安部正晃 (H11年卒)

安城市で美容室を構え10年、技術と知識の成熟期を迎えました。この「自主的拘束」の多い今、少しでも地域の皆様の心が豊かになるよう「人にやさしく、髪にやさしく」努めていきます。科学や理論の進んだ時代に美容師として活躍してできることを誇りに思っています。

西尾市高落町 名倉恭子 (H19年卒)

大学では有機化学を専門とし、殺虫剤の開発について研究していました。その後1年講師をしたのちに教員採用試験に合格し、今年で教員10年目となりました。現在は母校に勤務しています。大変なことも多いですが、生徒からパワーをもらいながらやりがいをもって仕事をしています。

# 令和3年度入試概況

進路指導主事 加古邦博

## 令和3年度入試を振り返って

令和3年度大学入学共通テストは、1月16日(土)、17日(日)両日に実施されました。本校は348名が、愛知教育大学と愛教大附属高校の2会場で受験しました。受験生以外の試験会場周辺への立ち入りが厳しく制限されるなど、例年とは異なる環境の中での受験となりましたが、生徒諸君は落ち着いて本番に臨むことができました。本校生徒の平均点は、文系が584点、理系が596点で、難化が予想されていた共通テストで、前年の平均点を上回るなど、よく健闘したと思います。

新型コロナウイルスの感染拡大と入試改革に伴う様々な変化といった、未知の要素が2つ重なる異例の事態を受け、近年の地元志向・「超」安全志向にますます拍車がかかった感があります。県内の中堅以下の私立大学への出願の増加も目立ちました。その一方で、経済的な不安からか、確実に合格が得られるところに絞って出願す

る生徒も多く、私大への出願が前年より延べ数で500名近く減少したのが特徴的でした。

国公立大学においては、前年度に見られた難関大敬遠への反動と強い地元志向、また、共通テストが予想以上に得点できた受験生が多かったことなどが相まって、いわゆる難関大学では、高得点層による厳しい競争を強いられることとなりました。

そうした状況の中でも、着実に力を蓄え、果敢に挑戦をすることで、京都大学1名、名古屋大学24名をはじめ、北海道大学、大阪大学、神戸大学、九州大学などの難関国立大学を含めて、前年を上回る203名もの国公立大学合格者がでるなど、最後まであきらめず努力する生徒諸君の姿は、後輩たちへの大きな励みになることと思います。また、私たち教員団も、生徒達の夢が叶えられるよう、今後もしっかりと応援していきたいと思ひます。

## ★★★★★★★★ 令和2・3年度大学別合格者数 ★★★★★★★★★★

国公立大学 大学名	3年度		2年度
	新卒	旧卒	
北海道	1	2	1
室蘭工業			1
筑波	1	1	1
群馬	1		
埼玉	1		
千葉	1		1
電気通信			2
東京医科歯科	1		
東京学芸			1
東京農工			1
横浜国立			1
新潟	1		1
富山	4		4
金沢	1	3	6
福井	5		4
山梨	3	1	
信州	4	1	2
静岡	19	2	16
愛知教育	19	2	18
名古屋	20	4	25
名古屋工業	14	2	7
岐阜	11	1	21
三重	7	1	17
滋賀	3	1	3
京都	1		1
大阪	4	2	1
大阪教育			1
神戸	1	1	2
和歌山			1
鳥取	1		1
広島	6	1	4
山口	1		

徳島	1		
香川			1
高知			3
九州	1		
長崎			1
大分			1
宮崎			1
琉球			1
<b>国立大学合計</b>	<b>133</b>	<b>25</b>	<b>152</b>
札幌市立	1		
高崎経済	1		1
群馬県立女子	1		
東京都立	1		1
横浜市立	1		1
富山県立	1		2
石川県立	1		1
福井県立	2		3
都留文科	1		3
長野	2		2
長野県立			1
公立諏訪東京理	1		1
静岡県立	3		2
愛知県立	7		6
愛知県立芸術			1
名古屋市立	12		6
三重県立看護	1		1
滋賀県立	1		1
京都府立	1		1
京都府立医科	1		
福知山公立	1		
大阪府立		1	3
奈良県立	2		1
公立鳥取環境			1
島根県立			1
県立広島	1		

高知工科	1		
福岡県立			1
名桜			1
<b>公立大学合計</b>	<b>44</b>	<b>1</b>	<b>42</b>
<b>国公立大学合計</b>	<b>177</b>	<b>26</b>	<b>194</b>

私立大学 大学名	3年度		2年度
	新卒	旧卒	
青山学院	2		
中央	6	8	14
東京理	4	1	5
法政	1		3
明治	5	3	4
上智	1		1
早稲田	1		4
立教	6		
愛知	159	6	173
愛知学院	37	1	49
愛知工業	51	16	81
愛知淑徳	53	5	48
金城学院	18		19
椋山女学園	54		47
中京	57	6	72
中部	18	2	32
豊田工業	7		6
藤田医科	22		27
南山	137	6	121
名城	128	26	179
同志社	13	10	14
立命館	79	13	53
関西	9	1	1
関西学院	3		3
その他の私立大学	201	33	286
<b>私立大学合計</b>	<b>1072</b>	<b>137</b>	<b>1242</b>

## 【あの先生は、今】

### ふか や まさ ゆき 深谷正之先生



深谷先生は、西高出身(15回生)で、昭和46年から58年までの12年間理科の教諭として(来年の幹事学年の担任も担当)、平成11年から13年までの2年間は教頭先生として西高にお勤めされました。

#### ★西高勤務で印象に残っていることは？

教諭時代の12年の前半は、まだ昔の旧制高校のような自由闊達な雰囲気を残していて、印象に残っている出来事が沢山ある。26歳で赴任してみて、個性がすごい強い先生、変な先生が多かったね。しゃべっている日本語が意味不明の先生やくしゃみだけでチョークが飛んでくる先生など「西高の3奇人」と呼ばれる先生方はホントに個性的だった。僕と同時に着任した校長からしても、最初の職員会議の第一声で「西尾高校は陸の孤島だ。これから県教委に僻地手当を申請してくる。」と真顔で言っていた。西尾に住んでいる僕らからすると馬鹿にされた感じを受け、「校長、何言っとるんだ」と反発したら、「今の若い者はいいなあ、校長に文句が言えて。文句があるなら僕を追い出すか深谷先生が出ていくかどっちかな。」と言われた。ただし、この校長は発想が新しい人だったね。カリキュラムに突然「フリーの時間」を設定せよと命じたけど、当時の教員は誰もその真意を理解できず賛成しなかった。

教員だけでなく生徒も活力と行動力に富んでいたね。ある美術講師が赴任してくると、その先生を中心に生徒が「仁渡露愚離世輪(ニトログリセリン)」というグループをつくって、いろんな「トングモナイ」ことをやらかした。昭和47年の西高祭で「西高祭記念レコード」を制作販売した。作詞作曲はのちに「燃えよドラゴンズ」を作詞作曲した卒業生だった。当時の教員の悪行?の数々が歌詞だったので、レコードは発禁・回収になった。また、昭和50年の西高祭ではパトカー2台先導のもと市内を仮装行列で



雪の北アルプス(鹿島槍ヶ岳を望む)

練り歩いた。現在では考えられんよね。

教諭時代の後半は、生徒も先生も全体的に大人しくなった。時代の流れだったかな。ただ、大人しいのは表面的だったかもしれないね。教頭時代、家の近くの寺で100人ほどの生徒が学校祭の反省会をしてくれた。後の指導が大変だった。教頭時代は、中学校の要職やPTA役員の多くが西高の教え子だったこともあって学校運営では大いに助けてもらって感謝している。

#### ★幹事学年33回生で担任した3年8組の思い出は？

8組は、クラス会で知ったことだが、デンソーに5人も入社していて、優秀なクラスだったと改めて思った。また、岩井俊雄君は幼児向け絵本作家で活躍中のようで、彼の絵本は僕の孫も読んでいますよ。僕は12年間のうち3年の担任を7回受け持った。その教え子たちが各界各分野でめざましい活躍をしていて嬉しいし誇りをもっている。

#### ★登山部顧問の思い出は？

当時の登山部は全国大会の常連だった。インターハイには3回引率して、尾瀬では優秀校に選ばれる栄誉を得た。あれだけ山へ行って幸いなことに大きなトラブルや事故がなかった。ただ、静岡県で行われた女子の国体予選で、すべてのパーティーが戻ってきても西高が戻ってこない。下山中に獣道に迷い込んだようで、真夜中に戻ってきた時は足があるか(幽霊になってないか)と思ったね(笑)。無事下山できて正直ほっとしたよ。

女子ソフトテニス部の顧問もやって、冬期に基礎体力を養成するために矢作川の河原でうさぎ跳びなど厳しい練習をさせたら、みんな辞めてしまって4人しか残らなかった。その4人を中心に西三団体が準優勝して県大会に出た。残った4人は確か33回生だった。

#### ★喜寿を迎えられて、なお山に行かれる健康の秘訣は？

退職後に、岡崎東高と刈谷高で8年間講師を続けて、昨年3月に75歳で辞めた。西高を去ってから山からは遠ざかっていたが、10年程前からOB諸君と毎年3~4回北アルプスなどに行っている。健康の秘訣はスキーやゴルフ、山歩きなど常に身体を動かしていたことかな。中学時代からカメラをいじっていて、高校時代は自宅で現像もしていた。西高に赴任してから山の写真を撮っていて、管理職の頃でも木曽の開田高原に年20回くらい通っていた。今は地元の同好仲間で作った「ときめき写真クラブ」の幹事をしていて、朝は宮崎海岸、夕方は一色海岸で朝日夕日の三



朝の三河湾

河灣を撮っている。勤めている時も退職後も、1週間に1日は頭を空っぽにする(仕事のことを忘れる)息抜きが健康に大切だと思っているんだ。

★先生にとって西高はどんな存在ですか？

西高は僕の人生そのものかな。柱だと言っていい。西高なくして語れないね。特に英語科の村井憲明先生には教師のノウハウだけでなく人としての生き方まで教えてもらった。村井先生と行ったヨーロッパ研修の折、フリーの日にマッターホルンを見ようと言ってジュネーブからツェルマットへ行こうとしたら、途中パンタグラフがとんで列車が止まってしまった。翌日はジュネーブからパリへ出発しなければならぬので、僕は引き返しましょうと言った。それに対する村井先生の言葉は「いいか、チャンスは2回ないんだ。このチャンスを逃したら2度とマッターホルンは見られないかもしれない。歩いてでも行くぞ。」そこで徒歩で別駅に行ってなんとかツェルマットに着いて、マッターホルンを見ることができた。この時の村井先生の言葉は、それ以後の僕の生き方の指針になっている。機会があるごとに生徒にも言う。「チャンスは2回ないぞ！ 今がその時だ。」

※インタビューを終えて

在校生・教諭・管理職という色々な立場で関わった深谷先生の西高に対する熱い思いを感じました。今は「ときめき写真クラブ」の設立10周年を記念して、安城市民ギャラリーでの展示会を計画中とのこと。一昨年に村井憲明先生、昨年は磯村義宣先生が鬼籍に入られ、登山部の顧問お二人を続けて失いました。深谷先生にはいつまでもお元気で活躍していただきたいと思います。

部活動報告

〔令和2年度〕

◆全国大会出場◆

全国高等学校ダンスドリル冬季大会

【ダンス部】

HIPHOP女子Large編成部門 4位  
(ビデオ審査による)

◆東海大会以上出場◆

東海ダンスドリル秋季競技大会

【ダンス部】

HIPHOP女子Large編成部門 優勝

東海選手権大会

【陸上競技部】

女子三段跳 本多 柚稀  
※新型コロナウイルスの影響により大会中止

◆県大会成績(入賞等)◆

愛知県高等学校新人体育大会

【陸上競技部】

女子三段跳 3位 本多 柚稀

愛知県高等学校文化連盟文芸専門部作品コンクール

【文芸部】

散文部門 1席 糟谷英里奈  
※令和3年度全国総合文化祭に出場決定

※県大会出場

【陸上競技部】 【野球部】 【サッカー部】 【体操部】 【剣道部】  
【水泳部】 【ソフトテニス部】 【吹奏楽部】

令和元年度  
西尾高等学校同窓会会計報告

自 令和元年8月 1日  
至 令和2年7月31日

1 経常費 (収入) (単位:円)		
科目	金額	備考
前年度繰越金	3,548,962	
卒業生入会金	1,780,000	5,000円×356名
雑収入	29	利息
計	5,328,991	
(支出) (単位:円)		
科目	金額	備考
会議費	223,565	同窓会総会諸費用
学校行事支援費	118,068	文化講演会、体感ウォーク、卒業式
同窓会関連事業費	806,411	LED増設工事費用、同窓会賞など
部活動支援費・報償費	5,000	部活動激励費
広報費	436,252	西尾高校だより、ホームページ
事務費・旅費・慶弔費	66,583	切手、インク、封筒、自転車整備費など
計	1,655,879	
(差引残額)	3,673,112 円	
2 維持会費 (収入) (単位:円)		
科目	金額	備考
前年度繰越金	12,385,159	
雑収入	57	利息
計	12,385,216	
(支出) (単位:円)		
科目	金額	備考
同窓会報費	2,618,563	
計	2,618,563	
(差引残額)	9,766,653 円	
3 周年事業会計 (収入) (単位:円)		
科目	金額	備考
前年度繰越金	6,686,058	
計	6,686,058	
(支出) (単位:円)		
科目	金額	備考
なし	0	
(差引残額)	6,686,058 円	

令和2年度公益財団法人  
西尾高等学校同窓会奨学財団収支決算書

自 令和2年4月 1日  
至 令和3年3月31日

(収入) (単位:円)	
繰入金 (同窓会会計より無し)	0
寄付金	4,223,000
受取利息	210
計	4,223,210
(支出) (単位:円)	
修学奨学金	1,200,000
海外派遣助成金(実施せず)	0
給与手当	83,000
証明書発行費	50,290
支払手数料	11,330
管理費	30,600
計	1,375,220
(差引差額)	2,847,990

\*この収支決算書は単年度決算の数字です。引き続き、奨学財団へのご寄付をお願いいたします。なお、納入方法に関しては同窓会HPをご覧ください。

## 「第13回名鉄西尾・蒲郡線 体感ウォーク」のご案内

名鉄西尾・蒲郡線体感ウォークを下記の日程で予定しています。ご支援よろしく申し上げます。

- 1 日時 令和3年11月11日(木) 8:30~16:30
- 2 場所 名鉄こどもの国駅から西尾市役所芝生広場
- 3 参加者 1・2年生約720名、職員40名、保護者を  
中心とした支援ボランティア約70名



## お知らせ

### 知性と感性を磨く文化講演会

- 1 講師 随筆家 黒川伊保子  
(著書『妻のトリセツ』『夫のトリセツ』)
- 2 演題 中高生でもまだ間に合う  
～天才脳の育て方～
- 3 日時 令和3年10月18日(月) 14:00～
- 4 場所 西尾高校体育館

同窓生で参加を希望される場合は、8月31日までに必要事項(氏名、電話番号、卒業年度)を記入の上、往復はがきまたはファックスにて下記までご連絡ください。ただし、会場の都合上、定員50名になり次第締め切ります。また、新型コロナウイルスの状況によっては、中止になる場合もございます。

連絡先 同窓会事務局 鶴田賀宣  
〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2  
FAX 0563-54-6963

## 西高吹奏楽部演奏会「ハルコン」のご案内

3月21日(日)に西尾市文化会館で開催しました。昨年はコロナ禍で中止し、今年は制約された中で練習を続け、2年間の思いを発表に繋げました。次回は、令和4年3月21日(祝)14時から西尾市文化会館で開催を予定しています。同窓生の皆様のお越しを心からお待ちしております。



訃報

### 元同窓会長 松井康 氏 (西高10回生)(11代同窓会長 平成14年～平成22年)

令和2年9月2日 ご逝去 享年80歳。

平成20年の西高創立90周年記念事業には実行委員会長として大いにご尽力されました。

西高時代に始めた剣道でも西尾市の剣道界の発展に寄与されました。気さくなお人柄でどなたにも分け隔てなく接する方でした。ご冥福をお祈りいたします。

### 同窓会報の配布

令和2年度から同窓会報はホームページのみの公開となりました。

同級会やOB・OG会等で同窓生がお集まりの際に限り、印刷した同窓会報をお配りいたします。

ご希望される代表の方は会の名と必要部数を同窓会報事務局(0563-57-2270)までお知らせください。

なお、印刷部数に限りがありますので、なくなり次第終了します。

### 同窓会専用ホームページ

同窓会からのお知らせや会員間の情報交換の充実を目的に、平成28年度から同窓会専用のホームページを開設しています。学年や部活動同窓会の情報提供、住所変更等の事務局への連絡にも活用できます。是非、ご覧ください。

<http://nishio-h-dousoukai.jp/>

編  
集  
後  
記

西尾高女が創立された百年前は、日本を含めて世界中でスペイン風邪が猛威を振っている真っ最中でした。それを乗り越えて西高の歴史が始まったのでした。巻頭では鈴木校長と杉田同窓会長にコロナ禍での西高と同窓会のあり方を伺いました。新たな百年の出発のきっかけになることを祈念いたします。

【会報編集委員会委員一同】

### 西高同窓会報「天地悠久」第32号

発行日 令和3年7月1日  
発行 西尾高校同窓会報編集委員会  
〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2  
TEL (0563) 57-2270  
発行人 同窓会長 杉田明弘  
印刷所 (資) 三州印刷